

経営内容のお知らせ

Ehime Shinkin Bank Report

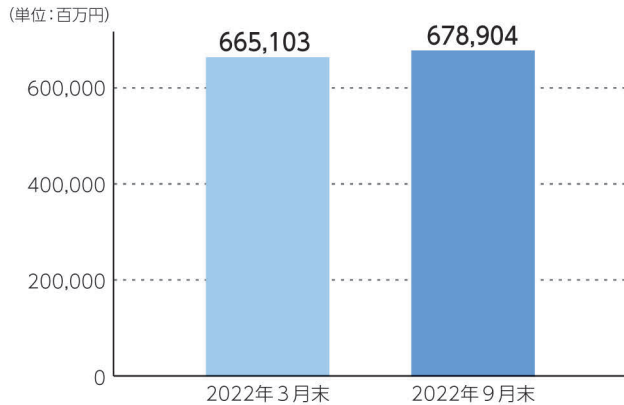
2022年4月1日▶2022年9月30日



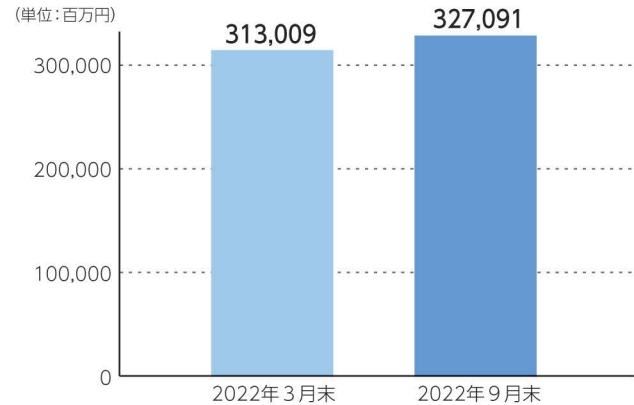
預金・貸出金の状況

お客さまとの日々の対話を大切にし、それぞれのお客さまのニーズや課題に適したご提案に努めた結果、預金・貸出金とも順調に増加しました。9月末の預金残高は前期末比138億円増加の6,789億円、貸出金残高は前期末比140億円増加の3,270億円となりました。

預金・積金残高



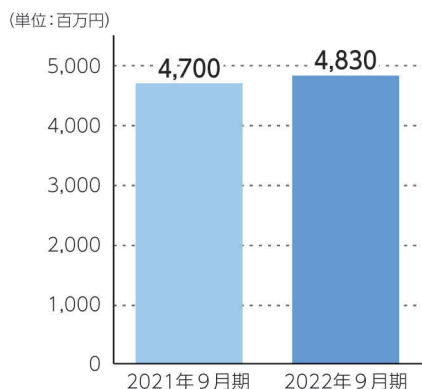
貸出金残高



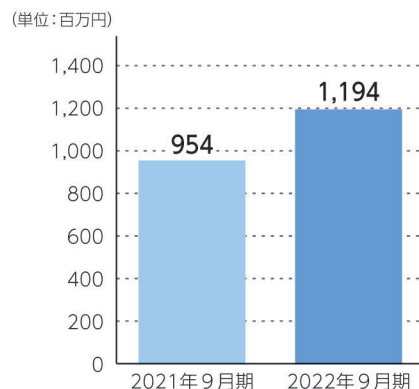
利益の状況

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、これまでどおりお客さま本位の活動に努め、地域の多くの方々に当金庫の金融機能・サービスをご利用いただきました。また、適切なリスク管理や経費管理などに努めたことから、引き続き安定した利益を計上することができました。

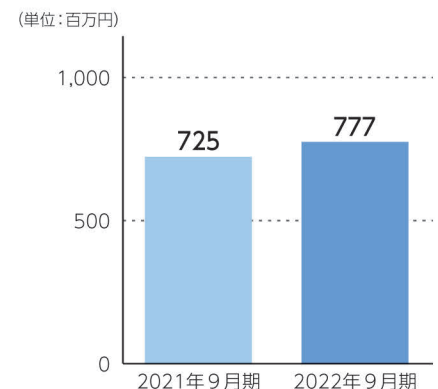
経常収益



経常利益



当期純利益



(単位:百万円)

	2021年9月期	2022年9月期
経常収益	4,700	4,830
業務純益	1,450	1,162
コア業務純益	930	1,109
コア業務純益 (投資信託解約損益を除く。)	930	1,109
経常利益	954	1,194
当期純利益	725	777

用語のご説明

●業務純益

預金積金利息などの資金調達費用をはじめとする業務費用から金銭の信託運用見合費用を控除した額を、貸出金利息などの資金運用収益をはじめとする業務収益から差し引いて算出するもので、信用金庫の主な業務によって得た純利益を表しています。

●コア業務純益

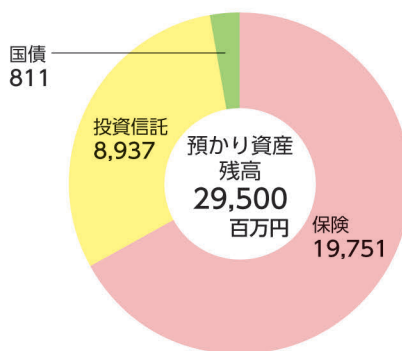
業務純益に一般貸倒引当金繰入額を加え、国債等債券5勘定戻(国債等債券売却益、国債等債券償還益、国債等債券売却損、国債等債券償還損、国債等債券償却)を控除したもので、金融機関本来の事業活動のみの利益を表しています。

預かり資産の状況

営業店職員とマネーアドバイザー（資産運用支援部所属の預かり資産専担職員）が連携しながら定期的にお客さまを訪問し、それぞれの資産状況や運用方針にあわせて、さまざまな情報を分かりやすくお伝えし、ニーズに合わせた商品をご紹介する活動に努めました。

預かり資産残高構成

(単位:百万円)



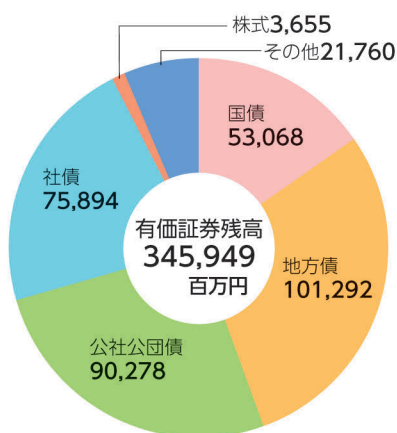
(注) 1. 「投資信託」は、9月末日における市場価格等に基づいています。
2. 「保険」は、「年金保険」「終身保険」「学資保険」です。

有価証券の状況

国債、地方債、政府保証債を中心に安全性・流動性に留意しながら運用しています。

有価証券残高構成

(単位:百万円)



(注)「社債」は、「金融債」及び「事業債」です。「その他」は、「投資信託」、「外国証券」及び「その他の証券」です。

有価証券の時価等情報

▼その他有価証券

(単位:百万円)

区分	貸借対照表計上額	取得原価 (償却原価)	評価差額
株式	3,007	2,144	863
債券	320,467	331,697	▲11,230
国債	53,068	57,159	▲4,090
地方債	101,292	103,126	▲1,833
社債	166,106	171,412	▲5,305
その他	21,709	24,372	▲2,663
合計	345,184	358,214	▲13,029

(注) 1. 貸借対照表計上額は、9月末日における市場価格等に基づいています。
2. 時価を把握することが極めて困難と認められる有価証券は含みません。

▼満期保有目的の債券

(単位:百万円)

区分	貸借対照表計上額	時価	評価差額
債券(社債)	66	65	▲0
合計	66	65	▲0

(注)時価は、9月末日における市場価格等に基づいています。

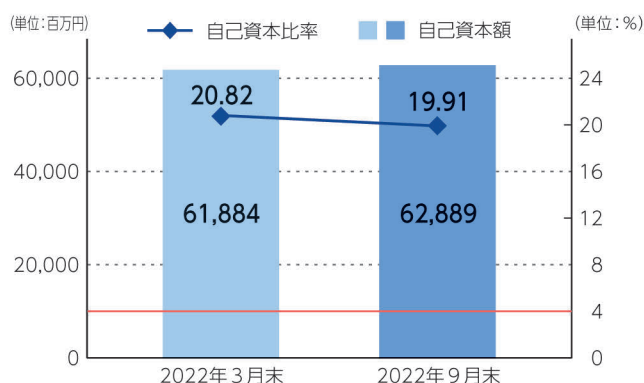
自己資本の状況

当金庫の自己資本は、会員の皆さまの出資金や、毎期安定した利益を計上して積み上げてきた内部留保等によって構成されています。

自己資本比率を算出する際の分母となる「リスク・アセット等」が増加しましたが、安定した利益を計上することができたことから、経営の健全性・安全性を示す自己資本比率は19.91%となり、国内基準（4%）を大幅に上回る高い水準を維持しています。

自己資本額・自己資本比率

(単位:百万円)



	2022年3月末	2022年9月末
自己資本 (A)	61,884	62,889
リスク・アセット等 (B)	297,212	315,762
自己資本比率 (A/B)	20.82%	19.91%

用語のご説明

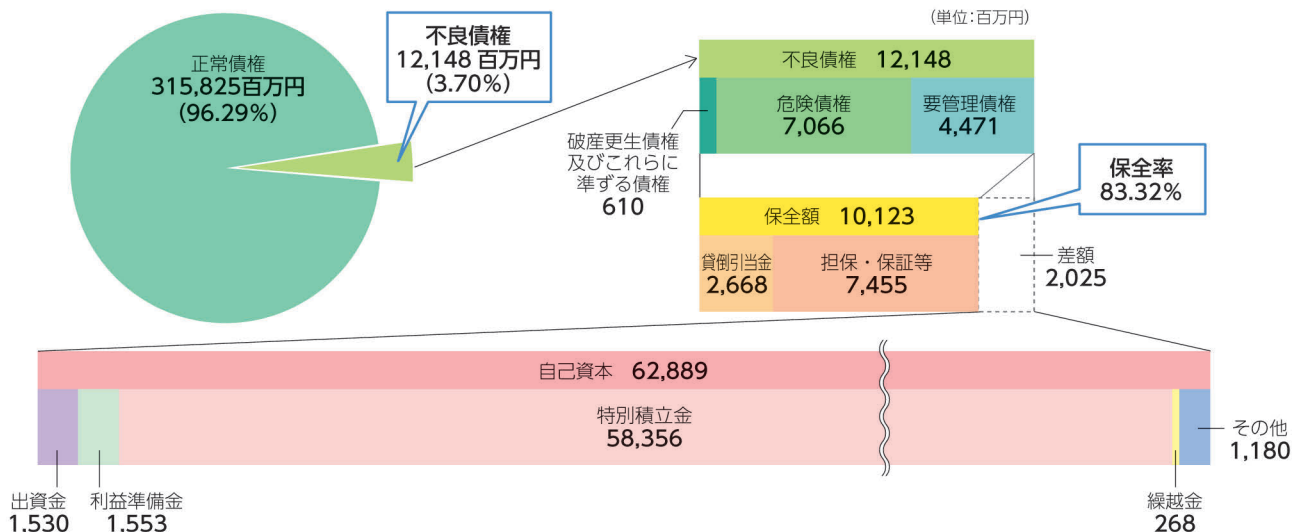
●自己資本比率

リスクに応じて計算された資産 (=リスク・アセット) に対する自己資本の割合を表すもので、金融機関の健全性を示す重要な指標とされています。

金融再生法に基づく開示債権の状況

お客様の資金繰りの円滑化に努めるとともに、本部と営業店が連携し、経営改善や経営力の強化に積極的に取り組みました。

当金庫では、厳格な基準のもと償却・引当を行い、不良債権に係る会計上の処理はすべて完了しています。不良債権額と保全額との差額2,025百万円に対し、当金庫の自己資本の構成の中心となっている内部留保額は60,178百万円であり、経営に与える影響は極めて少なく、健全性を十分に確保しています。



用語のご説明

●破産更生債権及びこれらに準ずる債権

破産手続開始、更生手続開始、再生手続開始の申立て等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。

●危険債権

債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態・経営成績が悪化し、契約に従った債権元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。

●要管理債権

「3ヵ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。

●正常債権

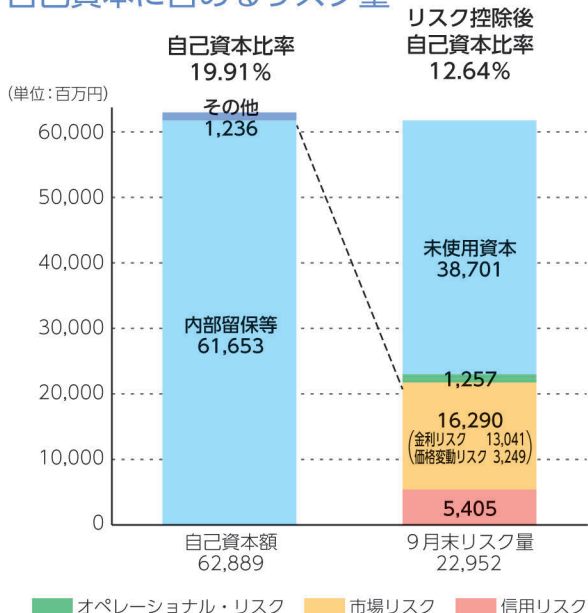
債務者の財政状態及び経営成績に特に問題がない債権であり、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」「危険債権」「要管理債権」以外の債権です。

統合的なリスク管理の状況

当金庫では、個々のリスクを一元的に管理し、経営体力(=自己資本)の範囲内でコントロールすることで、経営の健全化及び収益力の向上に努めています。

9月末におけるリスク量がすべて顕在化したと仮定した場合の自己資本比率も12.64%であり、国内基準を大幅に上回る水準を維持しています。

自己資本に占めるリスク量



用語のご説明

●信用リスク

取引先の倒産や財務状況の悪化などにより、当金庫の資産の価値が減少ないし消失し、損失を受けるリスクのことです。

●金利リスク

資産と負債の金利または期間のミスマッチが存在している中で金利が変動することにより、利益が低下し損失を被るリスクのことです。

●価格変動リスク

有価証券の価格の変動に伴って資産価値が減少するリスクのことです。

●オペレーショナル・リスク

業務上における不適切な処理等で生じる事象により損失を受けるリスクのことです。当金庫では、事務リスク、システムリスク、その他のオペレーショナル・リスク(法務リスク、風評リスク、人的リスク、有形資産リスク等)を含む幅広いリスクとして捉えています。

事業を営むお客さまへの支援

■各種ビジネスマッチングへの出展支援

お客さまの販路拡大のお手伝いをするため、愛媛県等との連携や全国の信用金庫ネットワークを活用し、全国各地の事業者さまとのマッチングをサポートしています。

「えがお 愛媛県」 「おいしい逸品」食品リモート商談会



当金庫のお取引先3社が参加しました！



■企業のライフサイクルに応じた取組み

経営に関する知識の習得や幅広い人的交流を目的に、各種経営塾やセミナー等を実施しています。

◆経営力向上塾



◆女性経営者塾



◆創業セミナー



■各種補助金・助成金の活用支援

2022年度上期支援実績（一部）

名称	採択件数
中小企業等事業再構築補助金	5件
ものづくり補助金	1件
小規模事業者持続化補助金	2件
新ビジネスモデル展開促進補助金	7件

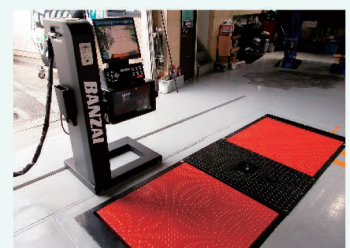
コンサルティング事例集に 詳しい内容を掲載しています

事業に関するコンサルティングの事例や、実際のお客さまの声を紹介しています。詳細については地域事業振興部（089-946-1121）までお問い合わせください。



～補助金活用事例～

近年、大型自動車の販売に注力するなど、業務の幅を広げてきた自動車整備業A社は、大型自動車の整備に対する対応力向上のため、「ものづくり補助金」を活用し、自動車検査機器のシステムを導入しました。当金庫は、申請書の作成や申請手続きのサポートだけでなく、新規顧客獲得のためのPR手法のアドバイス等も行い、事業計画が採択されました。



地域貢献・活性化への取組み

■愛媛県とよい仕事おこしフェア実行委員会が包括連携協定を締結

当金庫も実行委員を務めるよい仕事おこしフェア実行委員会と愛媛県が地域活性化および産業振興に向けた連携協定を締結しました。全国の信用金庫のネットワークを活用した中小企業支援や観光振興などに県と一体となって取り組みます。

連携・協定事項

1. 中小企業の支援に関する事
2. 観光振興に関する事
3. 就業支援及び雇用促進、人材の強化に関する事
4. 企業誘致に関する事
5. 移住定住及び都市農村交流促進に関する事
6. その他、地域産業振興、中小企業等支援及び地域支援に関する事



■松山市と「市内企業の脱炭素投資促進事業に関する連携協定」を締結

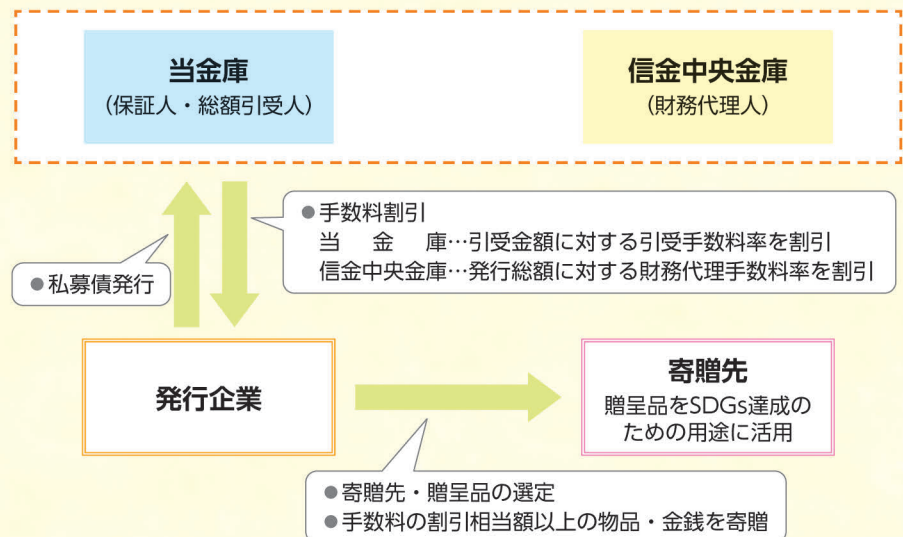
松山市に本店を置く当金庫、伊予銀行および愛媛銀行が松山市と連携し、市内企業の脱炭素経営への取組みを支援することを目的に連携協定を締結しました。

官民が協力して脱炭素化に向けた投資促進を後押しし、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにするカーボンニュートラルの実現を目指します。



しんきんSDGs私募債「ちいきのミライ」を積極的に受託しています！

しんきんSDGs私募債とは、一定の財務基準を満たし、SDGsの達成に向けて取り組んでいる優良企業が発行するもので、引受人である当金庫と財務代理人の信金中央金庫が、それぞれの受入手数料を一部割引し、発行企業が割引相当額以上の物品等をSDGs達成のために活用する団体等へ寄付する商品です。



地域に密着した取組み

◆松山まつり



◆えひめオープンシニアテニス大会2022 特別協賛



◆職場体験学習



◆インターンシップ



◆清掃活動



◆各種ロビー展



大洲支店



三津浜支店



大西支店

■JR四国と四国地区信用金庫協会の連携 ～JR四国の旅行計画「四国家のお宝」に参画～

四国地区内の信用金庫とJR四国が連携し、四国地区全体の地域活性化・地域振興に向けた取組みを実施しています。本年6月には、地域密着型ツアー「四国家のお宝」シリーズが伊予市で開催され、当金庫のお取引先にも珍珠製造の体験企画などに協力していただきました。



JR伊予市駅でお出迎え



理事長挨拶の様子



珍珠製造体験

店舗リニューアル・店舗統合のご案内

■野村支店を移転リニューアルオープン（10月24日）

お客様の利便性の向上などを目的として、野村支店を新築された西予市野村支所内に移転し、リニューアルオープンしました。金融サービスと行政サービスをワンストップで受けることができます。



■久万支店を移転リニューアルオープン（11月7日）

店舗機能の充実や耐震強化を目的として、久万支店を旧店舗の前面道路を挟んだ向かい側に新築し、リニューアルオープンしました。



野村支店

■今後の予定

◆郡中支店のリニューアル

郡中支店は、現在建替え工事を実施しており、港南支店で営業しています。2023年5月にリニューアルオープンを予定しています。

◆味生支店を三津浜支店、朝生田支店を石井支店へ統合

2023年1月に味生支店を三津浜支店へ、2023年春に朝生田支店を石井支店へ統合する予定です。

「Instagram」公式アカウントを開設しました！

お客様の自慢の商品・サービスの紹介や地域のイベント、当金庫の店舗や新商品の情報等を投稿しています。ぜひ、ご覧になってください。



ぜひフォロー
してください!!

アカウント名
@ehime_shinkin



詳しくはお近くの営業店へお問い合わせください。

〒790-0002 松山市二番町4丁目2番地11

TEL 089-946-1111 (代表) <http://www.shinkin.co.jp/ehime/>

本資料は、情報開示頻度の拡充といった観点から、半期における当金庫の現況をピックアップして作成したものであり、信用金庫法第89条第1項において準用する銀行法第21条に基づくディスクロージャー誌ではございません。



見やすい紙面作りのためユニバーサルデザインフォントを使用しています。